

# 第 2 次 宇 都 宮 都 市 交 通 戦 略

街がつながり人がつながる，暮らしが変わる  
「交通未来都市うつのみや」

平成 3 1 （ 2 0 1 9 ） 年 3 月

宇都宮市

## 【目次】

序章	第2次宇都宮都市交通戦略の策定にあたって.....	3
第1章	計画の概要.....	4
1.1	計画策定の目的.....	4
1.2	計画の位置づけ.....	4
1.3	計画期間.....	5
第2章	本市交通の現状.....	6
2.1	前計画の取組状況.....	6
2.2	本市交通の現状.....	14
2.3	本市交通を取り巻く環境の変化.....	22
2.4	国県等の動向.....	30
2.5	関連計画.....	37
第3章	本市が目指す都市交通の姿.....	41
3.1	目指す都市空間の将来像.....	41
(1)	第6次宇都宮市総合計画.....	41
(2)	第3次宇都宮市都市計画マスタープラン全体構想.....	43
3.2	目指す都市交通の将来像.....	50
第4章	将来像の実現に向けた課題の整理.....	52
4.1	課題の整理.....	52
第5章	交通施策の基本的な方針.....	54
5.1	基本理念.....	54
5.2	基本方針.....	55
5.3	10年後の都市交通の姿.....	57
(1)	全体像.....	57
(2)	市全域.....	59

(3) 中央部地域.....	6 0
(4) 北西部地域.....	6 3
(5) 北東部地域.....	6 5
(6) 東部地域 .....	6 7
(7) 南部地域 .....	6 9
第6章 戦略的な施策・事業 .....	7 1
6.1 施策の体系.....	7 1
(1) 施策体系 .....	7 1
(2) 目標指標 .....	7 2
6.2 具体的な施策事業 .....	7 3
(1) 多様な交通手段を「つくる」 .....	7 3
(2) 交通手段と交通手段を「つなぐ」 .....	7 9
(3) 状況に応じて適切に交通手段を「つかう」 .....	8 4
(4) 交通の利用を「ひろげる」 .....	9 2
第7章 推進体制と進行管理 .....	9 9
参 考 都市交通戦略の推進による効果 .....	1 0 1

## 第2次宇都宮都市交通戦略の策定にあたって

本市におきましては、これまでの都市の成り立ちを踏まえ、各地域の特性を最大限に生かしながら、都市全体の成長を牽引する都市拠点と、住民が身近な場所で快適な日常生活を送ることができる地域拠点、都市としての価値・活力を高める産業拠点、観光拠点を形成するとともに、これらの拠点間を交通ネットワークで結ぶ都市構造により、市民生活の質の維持・向上を図りながら、全ての地域が将来にわたって持続的に発展を続けることができる「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指しております。

このネットワーク型コンパクトシティを支えるため、平成21年9月に「宇都宮都市交通戦略」を策定し、鉄道やLRT、バス路線、地域内交通などが、それぞれの役割に応じて効果的・効率的に連携した階層性のある公共交通ネットワークの構築に向け、市民、交通事業者、行政が一体となって取り組んできたところです。

このような中、人口減少・少子高齢化の進行や公共交通に対するニーズの変化、近年の自動運転技術などの科学技術の飛躍的な進歩など、社会環境の変化に的確に対応しながら、将来のまちづくりを進めていくことは大変重要であると考えております。

このようなことから、この度、多くの皆様の御協力をいただきながら、「多様な交通手段を“つくる”」、「交通手段と交通手段を“つなぐ”」、「多様な交通手段を“つかう”」、「交通を“ひろげる”」の4つの基本方針を掲げた、今後の本市交通施策の指針となる「第2次宇都宮都市交通戦略」を策定いたしました。

今後は、市民・事業者・行政の3者がこれらの基本方針を共有しながら「街がつながり人がつながる、暮らしが変わる“交通未来都市うつのみや”」の実現を目指して取り組んでまいりますので、皆様の一層の御理解、御協力をお願いいたします。

平成31年3月  
宇都宮市長